

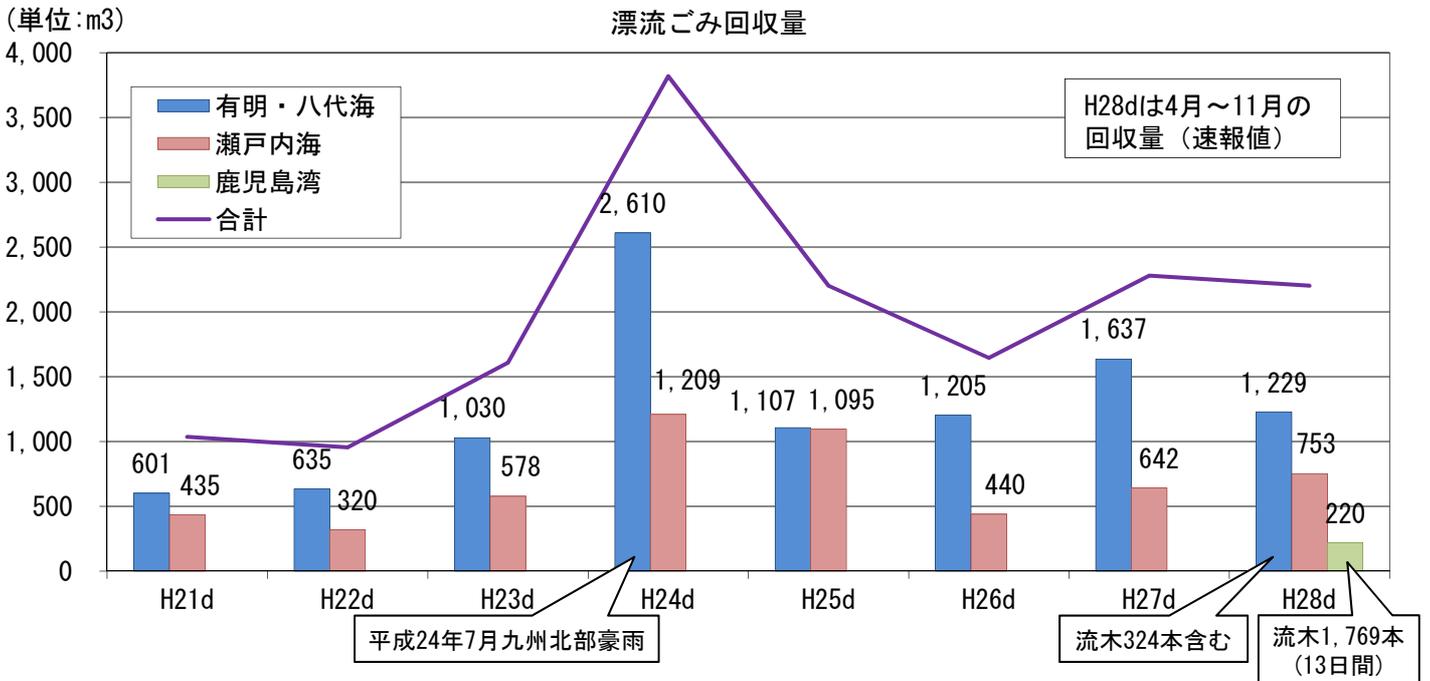
海洋環境整備船による漂流ごみ回収の実績について

九州地方整備局では、船舶の航行安全の確保や海洋の汚染を防除するため、有明・八代海と瀬戸内海において漂流ごみ(萱・草類、流木等)や浮流油の回収を行っております。

今年度(4月～11月)の海洋環境整備船による漂流ごみ回収量は、梅雨時期の大雨の影響を受け例年より多く、有明・八代海(配備船：海輝、海煌)では過去3番目、瀬戸内海(配備船：がんりゅう)では過去4番目に多い回収量となっています。

特に、有明・八代海では、熊本地震後の大雨で白川等から大量の流木が流出したこともあり、324本の流木を回収しました。

また、台風16号通過後に鹿児島湾内に大量の流木が漂流したため、八代港より「海煌」を緊急出動させ流木1,769本(13日間)を回収しました。



海洋環境整備船とは、海面を漂流するごみや油の回収、水質等海洋環境調査を行う船舶で、九州地方整備局では「海輝」、「海煌」、「がんりゅう」の3隻を運用しております。



「海輝(かいき)」(基地港：熊本港)



「海煌(かいこう)」(基地港：八代港)



「がんりゅう」(基地港：北九州港)

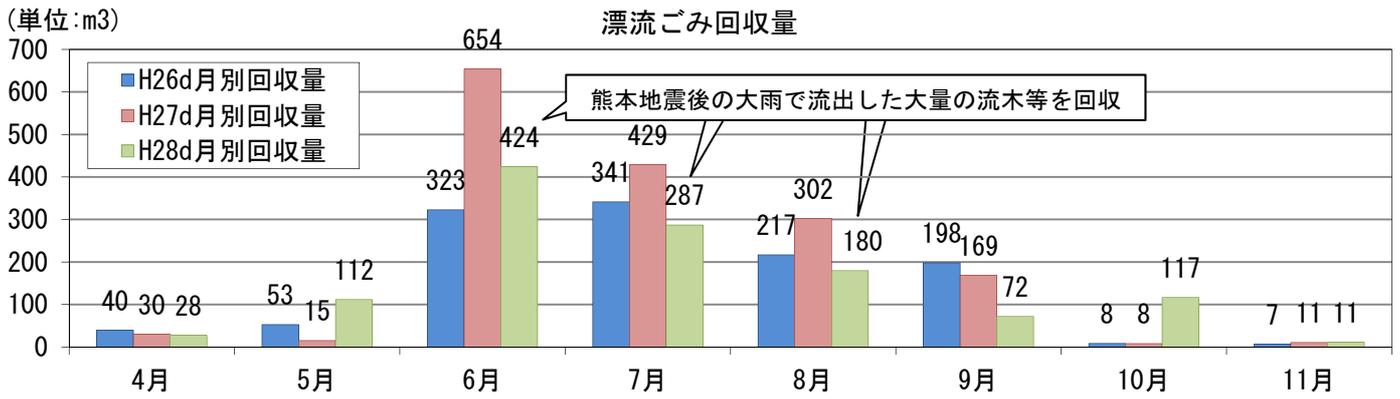
【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部
海洋環境・技術課長 有江 浩一

代表：092-418-3340
直通：092-418-3380

① 「有明・八代海」での月別漂流ごみ回収実績（海洋環境整備船「海輝」「海煌」）

(単位:m3)



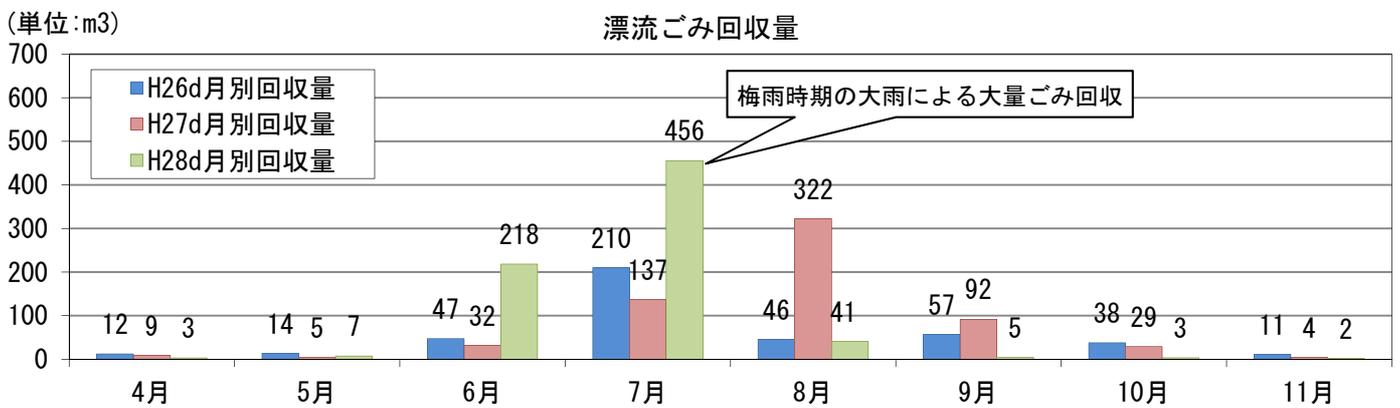
熊本地震後の梅雨時期に回収した流木



漁業者と連携したごみ回収の状況
(漁業者が回収した漂流ごみの受け取り)

② 「瀬戸内海」での月別漂流ごみ回収実績（海洋環境整備船「がんだりゅう」）

(単位:m3)



海上を漂う萱・草類



管轄区域

③ 「鹿児島湾」での流木回収実績（海洋環境整備船「海煌」）

平成28年9月の台風16号通過後、鹿児島湾内で大量の流木が漂流し、ジェットfoil等の船舶航行の安全性が損なわれる恐れがありました。

九州地方整備局は、第十管区海上保安本部及び鹿児島県からの流木回収への協力要請を受け、八代港を基地港とする海洋環境整備船「海煌」を緊急出動させ回収作業を実施し、9月23日から10月11日まで（実作業日数13日間）に流木1,769本を回収しました。



桜島フェリーの航路近くを漂流する大量の流木



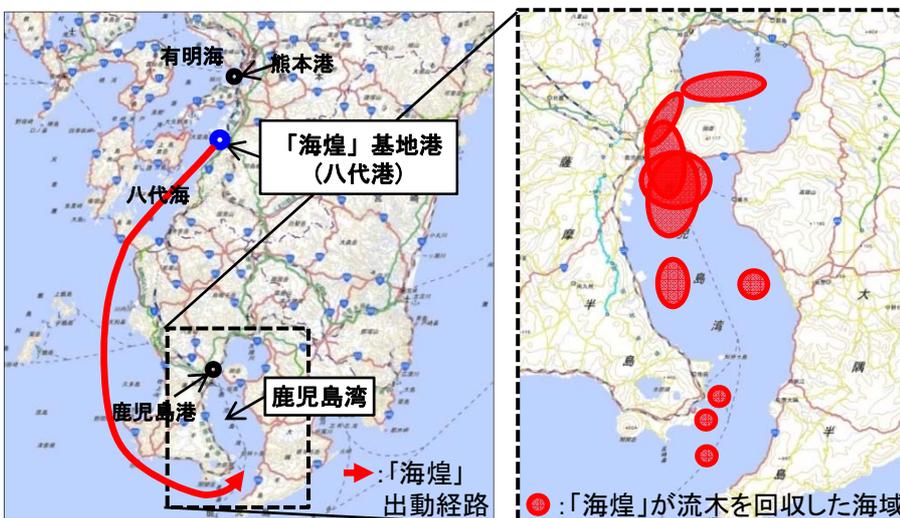
多関節クレーンを使用し流木を回収する「海煌」



フェリーが行き交う航路上での流木の回収（左が「海煌」）



長尺流木（12m）の陸揚げ



「海煌」の出動経路及び流木を回収した主な海域



「海煌」船上より流木を調査する職員